template

```
view から呼び出される html のようなもの . {{ object }} で view から渡された object を表示できる . {{ object|filter }} で object に filter 関数を適用できる . 引数は {{ object|filter:'arg' }} のようにコロン区切りで 1 つだけ渡すことができる . {% templatetag %} で templatetag という専用の関数を呼び出せる . {% extends "template_path" %} と書くことで template_path の template を継承できる . {% block block_name %} と書くことで継承元のテンプレートの block_name を上書きできる .
```

Listing 1 base.html 記述例

Listing 2 polls/index.html 記述例

form

post が発生するページでは Cross Site Request Forgery 対策が必要. csrf_token タグを置くことで hidden を挿入してくれる. post 先が同じ view (同じ URL) の場合, action の中身は空で良い.

Listing 3 form タグ 記述例

テンプレートタグ例

引数がある場合はスペース区切りで渡す.

タグ名	内容	補足
{% extends template_path %}	template の継承	
{% load library %}	拡張 template タグ読み込み	library はスペース区切りで複数記述可
{% block blockname %}	ブロック宣言開始	
{% endblock blockname %}	ブロック宣言終了	blockname はなくてもいいが,付けることを推奨
{% url url_name %}	URL 名前解決	urls.py で設定した名前を記述 .
		設定で prefix が変化するので tag を使う .
{% static path %}	静的ファイルの URL 作成	{% load static %} が必要
{% for obj in itor %}	繰り返しブロック開始	obj は block ないで使用する名前
{% endfor %}	繰り返しブロック終了	
{% if condition %}	if ブロック開始	condition は and, or not が使用可能
{% elif condition %}	elif ブロック開始	
{% else %}	else ブロック開始	
{% endif %}	if ブロック終了	
{% csrf_token %}	csrf 対策	form タグの中に置く